

## 八雲町育成牧場運営協議会 会議録

■日時 令和4年1月18日(金) 13:30~14:20

■場所 八雲町役場3階議員控室

■出席

運営委員 安藤勉、舟田進一、佐藤正之、都築岳志、小野泰、前川眞由美  
寺田裕

指定管理者 (株)青年舎 宮谷裕一、玉川庸次

八雲町 成田副町長、荻本課長、高嶋係長、角屋

■顛末

1. 挨拶 (八雲町副町長 成田 耕治)

八雲町育成牧場は八雲町の基幹産業である酪農の支援策として、55年にわたり時代に合わせた運営を行っており、昨年4月からは株式会社青年舎へ指定管理をお願いしている。昨年10月1日より3名の委員が入れ替えとなっているが、令和5年9月までの任期となっているので引き続きお力添えをお願いしたい。

2. 協議事項

○令和3年度運営状況について

・令和3年度の決算見込 (指定管理者説明)

委員) 予算額と決算見込額の差が大きすぎではないか。

事務局) 有機牛に合わせ化学肥料を控えた管理を行ったため、肥料費は減っている。

委員) 今後有機に合わせた草地づくりを行うのなら、種苗費の支出を増やし、よりよい草作りを行えると思う。

・令和3年度使用料内訳 (指定管理者説明)

委員より異議なし

・令和3年度入牧状況（指定管理者説明）

委員）なぜ今年度は預託数が減っているのか。

事務局）前年度より5件減っているが、そのうち3件は牛の飼育をやめている。また、今年度より管理体制が変わっているので様子見をしていることも考えられる。早めの通年預託への切り替えに向けて努力したい。

・委託牛増体量調べ（指定管理者説明）

委員）暑さにより増体が落ちているという報告があったが、例年と暑さの違いはあったか。

事務局）上記の件に加え、今年度は牧草畑の草地の伸び具合の見極めが甘く、牧草が伸びすぎてしまった。それにより牛に牧草をうまく食べてもらうことができなかった点も影響している。

委員）定期的な衛生検査によりなにか気づいた点はあるか。

管理者）バイチコールによるダニ駆除を行ったが、タイミングが悪かったかもしれない。

委員）牧草の栄養価がよくない、転牧のタイミングが悪いということで肉牛の増体が悪いということだが、不安があれば放牧アドバイザーに相談するなど各専門家に協力をお願いすることも検討してほしい。

委員）北里大学側で毎月体重測定をしているが、伸びた牧草が給与されている時期の肉牛の増体が悪い。その他の時期は増体に問題がないので、タイミングをしっかりと合わせることであれば増体は改善する。

○令和4年度の運営について

・草地整備事業計画について（事務局説明）

委員）暑さ対策として日陰の場所を作る予定はあるか。

事務局）検討する。

○その他

委員）今年度の受精状況については？

事務局）時期的に集計ができていないので、できたら次回お知らせする。

委員）今年度の事故牛、死亡牛はいたか。

事務局) なし。治療牛に関しては次回報告する。

委員) 今年度は要望調査をしてくれたが、今年もやってもらえるか。

管理者) できるだけことはやる。結果についてはまとめる予定。

委員) 昨年より(株)青年舎に管理を委託し、管理する人が変わったが繁殖は大丈夫か。預託数が減っているのは、繁殖に対しての不安もあると思うので対応してほしい。

管理者) 今年は個別で検診している農家が多く、それに基づいた繁殖計画にあわせて管理をしている。

委員) 育成牧場の管理体制はどうなっているのか。しっかり牛の管理ができているのか。預ける側は不安があると思う。

管理者) できれば朝から晩まで管理はしたいが、現時点では職員数の関係で難しい。